

## 富士吉田地域について

薬学部 廣實 魁 (神奈川大学附属高等学校 出身)



富士吉田キャンパスでは、休日などを使って、様々な観光を楽しむことができます。その一部をご紹介します。

すくなくとも1度は吉田うどんを食べることをお勧めします。おいしいお店を部屋のメンバーと探すのも良い思い出となります。4・5月には芝桜祭り、10・11月には、もみじ祭り、絶叫アトラクションで有名な富士急ハイランドも冬のシーズンに行けば、イルミネーションやスケートといった違う楽しみ方もあります。春や冬に河口湖に行けば、富士山の絶景を見ることが

できるでしょう。ボートに乗って河口湖を観光することもできます。オルゴールの森という観光スポットも行ってみたいですね。

どの場所も徒歩圏内だし、電車で数分の場所にあります。ここでの1年間、友人と色々な場所へ行き、富士吉田をもっと知り、思いっきり楽しんでください。



## ボランティア活動について

看護学科 田村 千明 (中村高等学校 出身)

寮祭も終わり一段落した7月上旬、私は山梨県立ふじざくら支援学校にボランティアに行きました。夏祭りの準備から運営のお手伝いまでをさせていただきました。これまでボランティア活動はそれほどしたことがなく、ボランティア先が支援学校という戸惑いも初めはありました。しかし、最終的には生徒と笑顔の絶えない楽しい時間を過ごすことができ、医療人になるために大切なことに気づかされ、貴重な学びの経験となりました。また、私は夏休み明けすぐに行われる初年次体験実習でも甲府の支援学校にお世話になったのですが、ふじざくら支援学校のボランティア活動で学んだことが実習を有意義にすることに繋がったと感じています。

皆さんも是非、積極的にボランティア活動に参加して、人としても医療人としてもさまざまな角度からいろいろなことを吸収して、実のある吉田生活を送ってください。



## 富士吉田寮50年目連載企画 1990年代

富士吉田教育部 講師 前田 昌子

寮50年目連載企画の第3弾90年代を引き受けたのですが……筆を執ってから、はて、90年代?と考えてしまいました。なぜなら、私が入学したのが1996年なので90年代といっても後半、それも特化した一年。ということで、その一年間を中心に当時の学生生活をふり返してみます。

バブル崩壊から数年、ブランド物で固める学生も少なく、寮での流行はミニテリスとUNO。吉カブ\*の連絡手段は内線電話、トランシーバー、そして導入されたばかりの吉田ネットのチャット。PCは個人所有ではなく各寮のコンピュータ室に数台設置されていました。置きカブ\* (当時はこんな言葉ありませんでした) は寮内の公衆電話に長蛇の列。PHSも普及し始めましたが、いじめの原因になると言われ持ち込まないように指導、電話会社のアンテナは撤去される時代でした (数年のうちに様相は一変しました)。外線電話は電話当番が放送で呼び出すため、部屋ごとに交代制。当番日の出前を楽しんだものです。男女で門限が違った (男子は22時、女子は21時) のも時代ですね。

放課後は部活に励む友人も多く、私は寮監先生から茶道を習い寮祭でお点前を披露。点呼後は一部屋に集まり遅くまでおしゃべり。それぞれの誕生日にはケーキを用意してお祝い。この辺は今の学生と変わりませんね。

大きな行事は寮祭くらいしかなくアルバイトも禁止されていたため、行事に追われることなく各自が工夫し、のんびりとした放課後を過ごしたものです。

※吉カブ: 富士吉田寮内で出来たカップルのこと ※置きカブ: 地元で彼氏や彼女がいる人



※右端が筆者



## スチューデント・インストラクターについて

看護学科 前田 朋佳 (県立追浜高等学校 出身)

昭和大学にはスチューデントインストラクター (略称はSI) という制度があります。これは、富士吉田地域のボランティアやオープンキャンパスの手伝いなどに参加するもので、これに数多く参加すると退寮時に表彰されます。一年次では、「富士登山競走」の救護ボランティアや「Mt.Fuji河口湖ジャズフェスティバル」といったこの地域ならではのボランティアを経験することができます。私は実際に「富士登山競走」の救護ボランティアやその他のボランティアに参加し、表彰していただきました。

ボランティア活動は1年間で自分自身を大きく成長させてくれました。多くのボランティアに参加することで様々な人と出会い、良い経験をする



ことができます。富士吉田での寮生活ではいろいろなことに積極的に参加して、充実した1年間にしてください!!!

## 国際交流について

医学部 山内 彰人 (昭和学院秀英高等学校 出身)

私は、昨年の7月30日から8月24日までのおよそ3週間、オレゴン州のポートランド州立大学への留学プログラムに参加しました。このサマープログラムには1年生21名が参加し、前半の2週間をホームステイ、後半の10日間を大学の学生寮で過ごしました。

ホームステイ中はホストファミリーと夕食や週末をともにし、日本と違った文化を体験したり、他愛もない会話をしたりしながら充実した時間を過ごすことができました。学生寮での生活は普段の寮生活よりも自由度が高く、ともにプログラムに参加した学生同士の仲を深めてくれました。日中は英語での授業をはじめ、病院見学や各種イベントがあり、たくさんのことを学びつつ、たくさん思い出を作ることができました。

このプログラムに参加したことで私の夏休みは非常に密度の濃いものになりました。新たな出会いや新たな経験を通して自身の成長を実感した留学体験でした。



## 編集後記

今号は、昨年寮を巣立った学生から後輩へのエールを込めて、富士吉田での思い出を中心にメッセージをいただきました。新入生の皆さんは新しい環境に不安や戸惑いがあるかもしれませんが、富士吉田で新たな出会いに期待し、充実した学生生活へのスタートを切っていただきたいと思います。

次回、第28号の発刊は7月に予定しております。今後とも『白樺・百合』をよろしく願っています。

富士吉田校舎事務課 出口 太一

# 白樺百合

昭和大学  
富士吉田キャンパスだより  
第27号 2016.4.12 発行

発行責任者 富士吉田教育部長 小出 良平  
編集責任者 富士吉田教育部広報委員長 倉田 知光  
〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田 4562  
TEL 0555-22-4403



## ようこそ 富士吉田キャンパスへ

学長・富士吉田教育部長 小出 良平

寒かった冬も明け、待ち遠しかった春が、今年も富士吉田キャンパスに1年生の諸君と一緒にやってきました。富士吉田校舎の職員一同、皆さんを心より歓迎いたします。

ここ富士吉田キャンパスは霊峰富士山の北側、標高950mに位置します。4月に入寮してから、しばらくは朝晩に暖房が必要です。

さて、将来医療人を目指している諸君は、第1学年をここで過ごします。この寮は4人1部屋ですが、単なる生活する住居ではなく、医療人を目指す諸君が、身近な相手に対する思いやりの心を培い、お互いの考えを理解し、将来チーム医療を実践していくためのコミュニケーション能力を高める教室でもあります。

この全寮制度は、昭和40年(1965年)に始まり、今年で51年目を迎えます。私もこの寮の3期生で、女子学生が富士吉田で過ごすようになった最初の学年です。当時は医学部、薬学部の300名で、男子寮と女子寮(現在のSGSセンター)の2寮でした。その後、本広報誌の名称にもなっているように、男子寮を白樺寮、女子寮を百合寮と名付けて、現在もその名称は引き継がれています。これらの寮をはじめ、富士吉田キャンパスの敷地は約47000坪あり、その施設・整備には、多くの卒業生が後輩のためにご寄付された資金を使わせていただいています。次年度以降に入学する皆さんの後輩のため、また昭和大学の伝統を継承していくためにも、施設や備品を大切に使用して、来年の1年生に引き渡してください。

私は昭和大学病院附属東病院から富士吉田キャンパスに赴任して5年目になります。病院施設における職員の行動目標のひとつは5Sです。5Sとは整理、整頓、清掃、清潔、習慣です。病院では質の高い医療の提供だけでなく、医療事故や院内感染の防止のために5Sを励行しています。これをもとにして、寮生活の5Sを整理、整頓、清掃、清潔、寝と決めました。富士吉田キャンパスにおける寮生活での目標を昨年同様今年も5Sとします。一年次から医療人の素養を身につけていただきたいと思います。

また、平成26年より富士吉田キャンパスは、敷地内禁煙となっています。昨年からは旗の台、洗足、横浜キャンパスも敷地内禁煙となりました。医療人を目指し歩みだされた皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。いよいよ始まる昭和大学の全寮生活は、人生の最もよい思い出の一つになるであろうと確信しています。大いに学習し、クラブ活動を楽しみ、有意義な1年間になることを祈念します。

### 広報誌名称について

全寮制を特徴とする富士吉田校舎学生寮は「白樺寮(男子寮)」「百合寮(女子寮)」の二寮からスタートしました。「赤松寮」「すみれ寮」を加えて四寮となった現在も、白樺・百合という名称は受け継がれています。この名を冠した「白樺・百合」という広報誌の名称には、過去・現在・未来の学生たちが日ごとに成長をとげて前進しつつも、常に初心を忘れず、伝統を受け継いでくれることへの願いが込められています。

大学では学生の国際交流を推進するため、海外実習・研修補助制度を設けて積極的に支援しています。



## 講義について

医学部 佐々木 信英 (桐蔭学園高等学校 出身)



昭和大学では医系総合大学という長所を生かし、早い段階からチーム医療を意識しています。富士吉田キャンパスならではのカリキュラムとして、学部の授業のほかにも全学部学科混合で行われる教養科目や選択科目があります。その中にはPBLのようにグループで話し合うものや、コミュニケーションを図り学ぶものもあり、その中で他学部の学生と交流することができます。私自身それらの授業を通して、コミュニケーション能力や医療人たる者としての姿勢を学び、かつ沢山の友人ができました。1年次のカリキュラムは、将来の職業にとらわれず医療人として他学部についても学べる貴重な機会です。大切にしてください。

これからは高校や予備校とは異なり、与えられる勉強から自発的な勉強が必要とされます。ですが分からないことは先生方も教えてくださるので、ぜひ頼りにしてください。寮生活は長いようで気が付けばあっという間に過ぎてしまいます。一生ものの友人となりうる仲間と過ごす貴重な1年を、精一杯楽しんでください。もちろん、勉強を疎かにしないことをお忘れなく。

## 学生会について

医学部 馬嶋 英玲奈 (南山高等学校 出身)

富士吉田校舎には四学部の一年生全員で構成される「富士吉田校舎学生会」というものがあります。そしてこの中に、中央委員会・代議員会・監査委員会・クラブ代表者会などがあります。詳細は入学時に一年生全員に配布される寮生手帳の



「富士吉田校舎学生会会則」に記載されています。

私は昨年度、中央委員会の一員であるすみれ寮(女子寮)寮長を務めましたので、ここでは中央委員会についてご紹介いたします。中央委員会は委員長1名・各学部の代議員代表4名・各寮の寮長4名・クラブ代表者2名、計11名からなり、学生会を代表していろいろな活動を行います。特に、毎月開催される合同委員会で、寮祭などの行事や学生の生活態度について先生方と話し合ったり学生の意見や要望を要望書として先生方へ伝えたりするのが大切な仕事です。

ほかにも代議員や寮長など11人全員に各自の仕事があり、忙しいときもありますがとても楽しく、大変やりがいがあります。私たち二年生も全力でバックアップするので、中央委員に選ばれた方は他の学生とは一味違う寮生活を楽しんでください!

## 実習について

医学部 櫻井 亮太 (芝高等学校 出身)

富士吉田における実習は1年目であるにもかかわらず、専門的なものが多くカリキュラムに組み込まれており、例えば医学部では骨のスケッチやカエル、ラットの解剖などがあります。また、9月からは「初年次体験実習」として、施設実習や病院実習、学部別実習などが行われ、2015年度からは他大学に先駆けて行われている「在宅医療」の授業の一環として高齢者宅訪問が加わり、より充実した実習になっています。この1か月は普段は感じる事のない緊張感が続き、グループワークや報告書の作成など忙しい日々ですが、終わったときの達成感もその分大きくなります。さらに医療系の学生としてだけではなく、人としても大きく成長することができる大事な期間であり、実習を通じて他学部との交友関係も広がります。



このように1年目から医療系大学ならではの实習を経験することができます。富士吉田での1年間をたくさんの仲間と楽しんでください。

## 寮生活について

薬学部 落合 彩乃 (富士見丘高等学校 出身)

寮での一年間は、私にとって一生忘れられない思い出となりました。

入学前は寮生活や友人関係を上手くやっていけるのか非常に不安でしたが、寮祭やウィンターパーティーなどの行事や部活動への参加は人間関係を広げるきっかけになりました。友人の誕生日会や試験前の勉強会など、同じ部屋のメンバーはもちろん、学部や寮を越えてさまざまな人と交流することができたのも寮生活ならではの経験です。毎日近い距離で接するからこそ相手をよく理解し、信頼関係をより深いものにできたと思います。

この一年間で多くの経験をし、一生付き合っていきたいと思える友人がたくさんできました。富士吉田での生活は皆さんにとって、想像以上に特別な一年になると思います。



積極的にさまざまなイベントに参加し、友人をたくさん作ってこの一年を思い切り楽しんでください。



## 一年間のイベントを通して

医学部 湯本 慶暉 (暁星国際高等学校 出身)

富士吉田の一年間における最大のイベントは、寮祭(平成27年までは初夏に開催、平成28年度は秋に開催予定)です。外部のお客さんにもお越しいただき、部活動やコンパでの出し物や模擬店で大いに賑わいます。そして、寮祭の前日の夜に前夜祭、初日の夜に中夜祭、二日目の夜に後夜祭があり、バンドやアカペラの演奏、ダンスがあって大変盛り上がります。昼間の出し物や模擬店に続き、夜にも楽しめるイベントがたくさんあります。この充実感こそが寮祭の一番の魅力と言えます。また、後夜祭の最後には、寮祭の締めくくりとして、花火を打ち上げます。花火を見ながら、キャンプファイヤーをみんなで囲んで踊ったり、友達同士で記念写真を撮るたくさん撮ったりします。仲間同士の絆を深めるとても楽しいイベントになっています。

寮祭によって将来チーム医療を行う際の連携についても意識することができたという声や各部活動の代表から聞かれます。寮祭はイベントとして非常に楽しい時間を過ごせるものであると同時に、仲間同士の絆、チームワーク、協調性を養うとてもいい機会となります。是非昭和大学富士吉田キャンパスにお越しいただき、寮祭を楽しんでください!

## 部活動について ~目指せ!モテBODY~

歯学部 伊藤 悠吾 (学習院高等科 出身)



これから、寮生活をするにあたりどう過ごしたら良いのかご紹介いたします!

吉田で寮生活をした人は皆、口を揃えてこういでしょう。「部活をすべきた」と。そうです!部活動に励むことがお勧めなのです!寮生活は、夜になったら部屋メン\*とお菓子パーティーと題してデブフェスを開催するなど、体重増加にもってこいの環境です。「今日は特別!」なんて言って自己暗示をかけて日々食べ続け、見事増量に成功した人は数え切れません。これでは残念ながらモテBODYからは遠ざかってしまいます。

ということで、部活動に励みましょう!

冗談はおしまいにして、ここからは真面目なお話をします(笑)

1年生の間は、本当に好きなだけ部活動に参加できます。2年生以降は勉強もより一層厳しくなり時間がなくなってしまうので、部活動に多く関わられるこの機会を活かさない手はないでしょう!

吉田生活は、自由な時間が多くあります。この自由な時間を有効に使い、吉田生活をどれだけ有意義なものにするかは皆さん次第です。是非、部活動に励んで楽しく過ごしてください!



※指導担任制度のグループの通称が「部屋コン」、そのグループのメンバーの通称が「部屋メン」。



## 部屋コンについて

歯学部 新井 麻由 (滝川第二高等学校 出身)

富士吉田 キャンパスには、部屋コンという制度があります。部屋コンは、男女3~4部屋合わせて16~25人が1人の指導担任のもとで形成されるグループです。

指導担任は、私たちの勉強面や生活面をサポートしていただきます。テスト期間中にはケーキやドーナツなどの差し入れをくださったり、食事に連れていっていただいたりもしました。慣れない寮生活で、不安や悩みを相談できる指導担任の存在は、とても心強いと思います。

また、友達の輪が広がるという点も魅力のひとつです。

私の部屋コンはとても仲が良く、みんなで河口湖にバーベキューに行ったり、メンバーの誕生日には動画を作ってお祝いしたりして、楽しい日々を過ごしました。新入生 のみなさんも、ぜひ部屋コンでたくさんの思い出を作ってください。